

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-2	利用者が主体性を持って、充実した時間を過ごせる場になるような取り組みを行っている
タイトル①	個別面談を通じて、多様なサービス希望を受け入れている	
内容①	毎年1回、利用者・家族・職員で個別面談を実施し、一緒に個別支援計画を作成しているが、その際にサービスに関して様々な意見や要望をうかがっている。「(利用者)もう少し難しい作業をやらせてほしい」といった作業面をはじめ、「金銭管理ができるようになってほしい」という日常生活の管理、その他健康面、給食、送迎サービスにいたるまで、内容は多岐にわたる。基本的に個別面談で出された意見や要望は受け入れる方針で対応している。かなり厳しい要求でも代替案を提案するなど真摯に対応している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	個別の支援計画等に基づいて、利用者の望む自立した生活を送れるよう支援を行っている
タイトル②	製品の納品や販売などを通じて、社会の人とのふれあいを大切にしている	
内容②	自主生産品の販売や受注品の納品時には、必ず利用者と一緒に外向き、外部の環境に接する機会を多く設けている。利用者の目の前で現金のやり取りをしたり、仕事の打ち合わせをすることで、働くことの厳しさや金銭感覚が身に付いている。また、受注先の担当者や地域の方が利用者の顔と名前を覚えてくれ、親しくなったり、言葉を交わすことがある。それが利用者の仕事のやり甲斐や自信にもつながっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-11	【就労継続支援B型】就労の機会の提供や、知識の習得及び能力向上のための支援を行っている
タイトル③	施設の広さを生かした作業で安定した仕事を確保している	
内容③	施設は1986(昭和61)年築。建物はやや老朽化しており、現在大規模な改修工事が行われている。自然に囲まれ環境は抜群だが、何といても魅力は施設の広さである。敷地面積2671㎡、延床面積1095㎡。作業室は1階フロアと2階フロアにそれぞれ2室ずつあり、どの部屋も広々として陽当たりが良い。受注作業の一つに、紙箱の組み立てがあるが、同施設のように広い作業室や倉庫がなければ受注は不可能だろう。広いというメリットを十分に活用しつつ、安定的な仕事を確保している。	